

令和6年 府中市立保育所自己評価チェックシート実施結果

府中市立小柳保育所

【参考】公立保育所平均値

自己評価項目		はい	いいえ	特記事項	はい	いいえ
1	人権尊重	100%	0%	どのような理由であっても子どもたちを差別することなく、自由に発言し正当に評価する姿勢を大切にしながら保育にあたっている。また大人の都合で決めるのではなく、子どもたちと一緒に最もよい選択は何かを決めることを軸に取り組んでいる。	99.9%	0.1%
2	説明責任	100%	0%	保護者一人ひとりの立場に立ち、気持ちの理解・共感を基本とし傾聴や受容に努めている。また日頃から会話を大切にし、信頼関係を築くよう心掛けている。	99.1%	0.9%
3	情報保護	100%	0%	個人情報に記載された書類は厳重に保管するとともに、日々の会話等も情報源となるということを意識し、取り扱いルールの徹底に努めていく。	99.7%	0.3%
4	苦情解決	95.5%	4.5%	保護者からの話をよく聴き、気持ちに寄り添うことが大切であり、不快にさせてしまった場合は謝罪をすることが大事である。また、苦情の解決策を考え、職員全体で共有し再発防止に努めている。	98.6%	1.4%
5	保育内容	100%	0%	子ども一人ひとりの個性を受け止め、個々にあった環境や働きかけを行っている。また職員の愛情や豊かな受容の下で安定感を持ち生活していく中で「やってみたい」という気持ちが芽生えるようなあそびの設定を提供していきたい。	99.1%	0.9%
6	小学校との連携	100%	0%	子どもたちが小学校の環境の変化に対応出来るよう徐々に交流の幅を広げている。また、保護者も安心して就学を迎えられるよう定期的に交流を図っていきたい。	97.9%	2.1%
7	健康支援	97.0%	3.0%	個人情報に留意し、職員間での子どもたちの健康状態を把握し、共有している。また感染症発症時には早急に保護者へ周知し、注意喚起に努め感染拡大防止に取り組んでいる。	99.4%	0.6%
8	食育の推進	97.8%	2.2%	子どもたちが食育に興味をもつ為に、野菜等を育てることや食材に触れる機会を作ることを大切にしている。また色や形、味や食感などを刺激するような工夫を行い、楽しい食事の時間になるよう取り組んでいきたい。	99.7%	0.3%
9	環境・衛生管理並びに安全管理	98.9%	1.1%	プロジェクトを立ち上げ、定期的には話し合う場を設け、振り返りを行い、職員間にて危険箇所の共有及び改善を図り、安全管理に努めている。	99.7%	0.3%

自己評価項目		はい	いいえ	特記事項	はい	いいえ
10	災害への備え	98.5%	1.5%	毎月避難訓練を行うことで、高い防災意識を持つことができ災害時に落ち着いて行動できるようになっている。様々な場面を想定し、避難訓練等の取り組みを保育所が保護者へ発信できるよう努めていきたい。	99.7%	0.3%
11	子育て支援（保護者への支援）	93.5%	6.5%	個々の保護者に合った声かけを積極的に行い、傾聴することや丁寧な対応を心掛けている。また子どもの背景をしっかりと理解した上で、慎重に精査するとともに関係機関と連携を取り進めていく。	97.2%	2.8%
12	子育て支援（地域等への支援）	80.2%	19.8%	園庭解放やポップコーンパパを実施し地域に根ざした保育所作りに力を入れている。時期などにより参加人数に差があるが、今後、地域担当職員と共に検討し、楽しく参加できる交流の場が出来るよう努めていく。	97.3%	2.7%
13	要保護児童への対応	95.5%	4.5%	マニュアルに沿って対応している。子どもや保育所の日常的な姿から日々の様子や家庭環境をしっかりと把握し、保育を行っている。	99.3%	0.7%
14	特色ある教育と保育 （特別な支援を要する子どもへの対応）	97.3%	2.7%	子どもへの理解を深める為の情報収集や、保護者の思いに寄り添いながら保育を行っている。また関係機関とも連携を行うことで子どもへの理解の幅が広がり、支援方法などの統一を図ることが出来るよう心掛けている。	99.5%	0.5%
15	地域の実態に対応した保育事業	78.9%	21.1%	近隣の小中学校との交流を行い、関わりを深めている。今後も交流が継続できるよう計画的に進めていきたい。	95.4%	4.6%
16	研修	95.5%	4.5%	研修後、職員間でフィードバックを行い、職場全体で話し合い等を行い、スキルアップに繋げていけるよう取り組んでいきたい。	98.8%	1.2%

#### 自己評価チェックシートを実施しての振り返り

・地域の実態に対応した保育事業について、地域に根ざした保育所作りを念頭において、コロナ禍以降、途絶えていた近隣の小中学校との地域交流を改めて検討し実現した経緯があります。交流の回数は少なかったのですが、子どもたちの笑顔が溢れる姿から職員のモチベーションの向上にも繋がり、今後も継続していくことが大切であることを認識しました。継続する為の方法や取り組み方など、職員間で意見を出し合い子どもも職員も笑顔になれる企画を立て実行できるよう進めていきたいと思います。

・保育内容については、子どもたち一人ひとりの個性を大切にしたい保育を実施できることが良い点であると思いますので、今後も子どもを中心とした保育を行っていききたいと思います。